

誓約書

広島市立大学長 殿

私は、以下のプログラムに参加するにあたり、下記の項目を遵守することを誓約します。なお、誓約事項に反した場合は、広島市立大学（以下「本学」という。）の派遣学生の資格の取消しや、本学からサポートを受けられないことになっても異議を申し立てません。

[プログラム名]

[期間] 年 月 日～ 年 月 日 [渡航（派遣）先]

[渡航目的]

1. 参加プログラムの趣旨を十分に理解し、本学を代表しているという自覚を持ち、本学の学生として十分な良識と責任を持って行動し、渡航目的に精励すること。
2. 渡航期間中は渡航（派遣）先の国・地域で適用される法令、受入先機関及び本学の諸規則を遵守するとともに、プログラム主催者や、本学の国際交流推進センター等の指示に従い、渡航（派遣）先の国・地域の公序良俗に反することがないように注意すること。薬物・武器・模造品の購入・所持や使用については、渡航（派遣）先の国・地域で適用されている法令のみならず、日本国の法令でも禁止されているものについても行わないこと。なお、これらに関する違反に起因する問題については、本学に対して一切責任を問わないこと。
3. 渡航日から帰国日までの全期間を補償期間とする、本学指定の海外旅行保険及び危機管理支援サービスに加入すること。また、渡航（派遣）先国・地域から現地保険への加入を求められる場合は、双方の保険に加入すること。
4. 海外旅行保険の補償内容は、渡航前によく確認し、補償対象の事由と免責事由を把握

すること。また、危機管理支援サービスの内容を事前に確認すること。渡航期間中の疾病、けが等による入院加療又は手術・手当等の医療措置については、帰国の必要性及びその手段・方法を含め、プログラム主催者や、本学が判断する必要がある場合、プログラム主催者や、本学の国際交流推進センター等にその判断に一任することとし、その結果に対しては本学に対して一切責任を問わないこと。これらの医療措置ならびに搬送等に必要な費用のうち、海外旅行保険の補償金額を超える部分があった場合、または補償対象外となった場合は、自らがその費用を負担すること。

5. 事故などの不測の事態が生じた時やプログラム実施の為に、プログラム主催者、本学、受入機関、危機管理支援サービス会社、海外旅行保険会社、自治体、関係省庁及び在外公館で、個人情報共有・利用することに同意すること。
6. 渡航（派遣）先の国・地域での災害、暴動、テロ、疾病の流行、治安の悪化などの不可抗力の事由により、本学がプログラムの中止、または帰国勧告を決定することを理解し、その指示に速やかに従うこと。また、プログラムの中止、または帰国勧告により発生する諸費用については、自らがその費用を負担すること。
7. 渡航期間中の災害、テロ、事故、疾病、犯罪等による人的及び物的損害について、本学に対し一切責任を問わないこと。
8. プログラム期間中に私的な旅行等の理由により渡航（派遣）先の国を離れる場合、及び一時帰国をする場合は、プログラム主催者と本学の国際交流推進センターに必ず事前報告し、了承を得ること。また、渡航（派遣）先の国から第三国へ移動する際には、外務省の海外旅行登録システム「たびレジ」に渡航予定を登録するとともに、必ず行き先の危険情報（感染症危険情報を含む）を外務省海外安全ホームページで確認すること。危機レベル2以上の国・地域には行かないこと。休暇期間中やプログラム期間外の行動に関しては、自己責任で行動すること。
9. プログラム期間中に撮影された肖像写真及び動画をはじめとする画像や映像等について、提供が可能なものについて原則として本学の大学広報に関する事に使用することを許諾すること。
10. 上記の誓約事項に違反し、本学から派遣学生としてふさわしくないと判断された場合は、帰国を含むいかなる指示にも従うこと。また、それに伴い発生するいかなる費用も、自らがその費用を負担すること。

(本人) 署名日 年 月 日

学生氏名 (自署): _____

所属学部・学科名: _____ 学籍番号 _____ 学年 _____

(保証人) 保証人は上記項目に関する誓約に同意し、学生本人が上記誓約事項を遵守することを保証します。

保証人氏名 (自署): _____ (続柄) _____

緊急連絡先①氏名: _____ (続柄) _____ (電話) _____

緊急連絡先②氏名: _____ (続柄) _____ (電話) _____